



駒大の開幕戦戦績(過去5年間)

- 1998年
- 3-2 日本体育大学
- 1999年
- 2-0 中央大学
- 2000年
- 1-2 慶應義塾大学
- 2001年
- △ 1-1 中央大学
- 2002年
- 1-2 東京学芸大学

試合後、悔しさをにじませる駒大イレブン。近年、駒大は開幕戦でいい成績を残していない(撮影・岩田陽一)

JR東日本カップ 2003 第77回関東大学サッカーリーグ戦(前期) 1部リーグ 第一節

駒澤大学1-1日本大学

まさかまさまのドロー発進! 王者駒大初陣飾れず

赤嶺のゴールで勢いこの
るかと思われたが…

深井、巻の抜けた王者駒大はどんなサッカーをするのか?期待と不安が交錯するなか始まった開幕戦。相手は今年2部から昇格してきた日大。高木琢也(元日本代表)、植木繁晴など名のあるコーチを迎え近年チーム強化に励んでいるだけに侮ることは出来ない相手。

前半は「ガンガンいけと言われていたのに出来なかった」と中嶋が言うとおり、前線からのプレスが思うように機能せず、ゲームは支配するものの攻撃の形が作れずにいた。13分、40分と橋本のCKからチャンスを作りだそうとするも得点出来ず。終了間際にはFKのこぼれ球を小林亮が狙うが相手GKの好守に阻まれてしまう。

後半、駒大は中田をFWに上げ、得点を狙いにいく。そして、その狙いは開始早々に的中する。後半1分、中田が粘って粘ってゴール前にあげたセンターリングを赤嶺がシュート。一度は空振りするもののその後、落ちていてゴールに叩き込み先制。待望の先制点は新エースの一振りから生まれた。

しかし、喜びもつかの間。8分後、先制点がうまれた事で気が緩んだのかCKのボールを牧野が中途半端にクリア。ゴール前の混戦から日大・横山がシュート。一度はクリアするもののボールがゴールラインを割ったとの判定で同点に追いつかれる。その後は同点に追いつかれたことでリズムを崩したのかチグハグな攻撃が目につきなかなか日



日大のベンチには高木琢也氏の姿が!